



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社 上場取引所 東 名  
コード番号 7213 URL <https://www.lecip.co.jp/hd/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 品川 典弘 TEL 058-324-3121  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,743	40.8	572	—	724	—	408	—
2023年3月期第3四半期	8,338	2.5	△1,139	—	△1,051	—	△746	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 302百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △838百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	30.10	—
2023年3月期第3四半期	△57.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	18,206	4,961	27.3	364.80
2023年3月期	14,856	4,688	31.6	346.64

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,961百万円 2023年3月期 4,688百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	40.3	1,500	—	1,800	—	1,100	—	81.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	14,178,200株	2023年3月期	14,178,200株
2024年3月期3Q	576,899株	2023年3月期	651,330株
2024年3月期3Q	13,565,842株	2023年3月期3Q	12,915,495株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へ移行されたことにより、移動需要やインバウンド需要の回復など経済活動の正常化に向けた動きが進みました。一方、ロシアによるウクライナ軍事侵攻など世界情勢の不安に伴う資源等の価格高騰、世界的なインフレ、半導体をはじめとした電子部品等の供給不足など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く経営環境においては、主要な取引先であるバス・鉄道業界における輸送量が増加した影響により、バス・鉄道事業者の設備投資意欲が回復してまいりました。また、材料価格高騰を踏まえた価格交渉等にも鋭意取り組んでおります。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、2021年4月よりスタートいたしました長期ビジョン「VISION2030」と長期ビジョンのアクションプランとして策定した中期経営計画「CN2023 (Challenge to the Next stage2023)」の実現に向けた取り組みを進めております。

中期経営計画「CN2023」では、重点課題である①「モノコトへの新たな事業展開」、②「MaaS、スマートシティに向けた新しい価値の提供」、③「海外・国内ビジネスの新たな融合と広がり」、④「事業構造の転換に向けた業務プロセスの抜本的変革」、⑤「育成分野への経営資源のスムーズな移行」の5つの課題に向けた取り組みに注力しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、輸送機器事業、産業機器事業ともに好調に推移し、売上高は117億43百万円（前年同期比34億4百万円増、40.8%増）となりました。損益面につきましても、売上の伸長などにより、営業利益は5億72百万円（前年同期は11億39百万円の営業損失）、経常利益は7億24百万円（前年同期は10億51百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億8百万円（前年同期は7億46百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### [輸送機器事業]

当事業の売上高は、83億13百万円（前年同期比30億20百万円増、57.1%増）、営業利益は2億38百万円（前年同期は10億17百万円の営業損失）となりました。

市場別の売上高は、バス市場が55億56百万円（前年同期比24億39百万円増、78.2%増）、鉄道市場が18億88百万円（前年同期比5億6百万円増、36.7%増）、自動車市場が8億67百万円（前年同期比74百万円増、9.4%増）となりました。

バス市場につきましても、バス事業者の設備投資意欲の回復を受け、ICカードリーダーやカラーLED式行先表示器の売上が増加したほか、カリフォルニア州バス事業者向け運賃収受システムの売上が計上されたことにより、増収となりました。

鉄道市場につきましても、ニューヨーク市地下鉄車両用灯具の納入が進んでいることに加え、新紙幣発行に係る運賃収受機器の改造需要があったこと等により増収となりました。

自動車市場につきましても、半導体をはじめとした部品の供給不足が落ち着いた影響により、自動車メーカーの生産台数が増加し、増収となりました。

当事業の損益は、大幅な売上の拡大、生産性向上による原価率の低減等に伴い黒字となりました。

#### [産業機器事業（エネルギーマネジメントシステム事業）]

当事業の売上高は、34億2百万円（前年同期比3億84百万円増、12.7%増）、営業利益は3億71百万円（前年同期は85百万円の営業損失）となりました。

市場別の売上高は、電源ソリューション市場が21億11百万円（前年同期比2億4百万円増、10.7%増）、エコ照明・高電圧ソリューション市場が5億19百万円（前年同期比22百万円増、4.5%増）、EMS市場が7億71百万円（前年同期比1億57百万円増、25.7%増）となりました。

電源ソリューション市場につきましても、物流市場の活況や電動化の気運により、バッテリー式フォークリフト用充電器の需要が底堅く推移していることに加え、価格改定の効果も表れ、増収となりました。

エコ照明・高電圧ソリューション市場につきましても、電子式ネオン変圧器、電位治療器トランス等の売上が増加し、増収となりました。

EMS市場につきましても、産業機器向け基板実装売上が増加し、増収となりました。

損益面につきましても、銅・鉄等の主要原材料価格の上昇を踏まえた価格改定の効果により、利益率が改善し、黒字となりました。

[その他]

当事業の売上高は27百万円、営業利益は5百万円となりました。事業の内容は、主としてレシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は182億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億50百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が6億19百万円、受取手形及び売掛金が3億54百万円減少した一方、商品及び製品が19億36百万円、原材料及び貯蔵品が14億75百万円、仕掛品が6億96百万円増加したこと等によるものです。

負債は132億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億77百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が11億18百万円、支払手形及び買掛金6億63百万円、未払法人税等が3億54百万円、短期借入金2億11百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億64百万円、長期借入金が1億5百万円増加したこと等によるものです。

純資産は49億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億72百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益4億8百万円の計上等により利益剰余金が3億39百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、2023年11月10日に公表しました連結業績予想からの変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,179,471	2,560,421
受取手形及び売掛金	3,632,500	3,278,095
商品及び製品	1,213,207	3,149,318
仕掛品	612,770	1,309,174
原材料及び貯蔵品	2,642,259	4,117,950
その他	545,862	902,804
流動資産合計	11,826,072	15,317,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	752,282	719,488
その他(純額)	682,885	629,901
有形固定資産合計	1,435,168	1,349,389
無形固定資産		
投資その他の資産	467,775	396,523
投資有価証券	667,638	661,901
その他	504,933	525,471
貸倒引当金	△45,100	△44,150
投資その他の資産合計	1,127,472	1,143,223
固定資産合計	3,030,416	2,889,136
資産合計	14,856,489	18,206,901
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,367,662	2,031,459
電子記録債務	1,634,081	2,752,423
短期借入金	4,074,400	4,285,420
1年内返済予定の長期借入金	515,564	680,118
未払法人税等	20,289	374,821
賞与引当金	316,890	228,930
製品保証引当金	53,268	60,739
その他	1,124,149	1,520,691
流動負債合計	9,106,306	11,934,602
固定負債		
長期借入金	586,344	692,066
役員報酬BIP信託引当金	80,268	80,268
退職給付に係る負債	35,170	42,470
その他	359,431	495,776
固定負債合計	1,061,214	1,310,581
負債合計	10,167,520	13,245,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,190,955	1,190,955
資本剰余金	1,218,003	1,227,276
利益剰余金	2,454,912	2,794,090
自己株式	△281,510	△251,332
株主資本合計	4,582,361	4,960,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,419	186,912
為替換算調整勘定	△87,812	△186,184
その他の包括利益累計額合計	106,606	728
純資産合計	4,688,968	4,961,718
負債純資産合計	14,856,489	18,206,901

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	8,338,818	11,743,751
売上原価	6,507,501	7,935,260
売上総利益	1,831,316	3,808,490
販売費及び一般管理費	2,970,584	3,235,580
営業利益又は営業損失(△)	△1,139,267	572,910
営業外収益		
受取配当金	12,725	15,480
為替差益	91,446	152,310
その他	14,348	12,602
営業外収益合計	118,520	180,394
営業外費用		
支払利息	20,198	21,893
障害者雇用納付金	4,150	3,250
納期遅延損害金	0	2,853
その他	6,011	476
営業外費用合計	30,360	28,472
経常利益又は経常損失(△)	△1,051,107	724,832
特別利益		
固定資産受贈益	—	80,105
特別利益合計	—	80,105
特別損失		
減損損失	1,386	12,551
固定資産廃棄損	414	198
特別損失合計	1,800	12,750
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,052,908	792,187
法人税、住民税及び事業税	27,599	369,720
法人税等調整額	△333,694	14,150
法人税等合計	△306,095	383,870
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△746,813	408,317
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△746,813	408,317

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△746,813	408,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,251	△7,506
為替換算調整勘定	△109,971	△98,372
その他の包括利益合計	△91,719	△105,878
四半期包括利益	△838,533	302,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△838,533	302,438
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業 (エネルギーマネジメン トシステム事業)	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,292,654	3,018,017	8,310,671	28,146	8,338,818
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,292,654	3,018,017	8,310,671	28,146	8,338,818
セグメント利益又は 損失(△)	△1,017,758	△85,403	△1,103,162	7,599	△1,095,563

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項) (単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,103,162
「その他」の区分の利益	7,599
全社費用(注)	△43,704
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,139,267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、1,386千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業 (エネルギーマネジメン トシステム事業)	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,313,396	3,402,358	11,715,754	27,996	11,743,751
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,313,396	3,402,358	11,715,754	27,996	11,743,751
セグメント利益	238,661	371,448	610,109	5,490	615,600

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	610,109
「その他」の区分の利益	5,490
全社費用(注)	△42,690
四半期連結損益計算書の営業利益	572,910

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、12,551千円の減損損失を計上しております。